

はじめに（案）

儲かる農業で人に元気を！まちに活気を！

宇佐市は、平成 17 年の合併を経て、広大な平野部から中山間地域に至る豊かな自然環境を活かした多様な農業やグリーンツーリズムが展開されています。



平野部では、県内最大の穀倉地帯を有し、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業が行われるとともに、小ねぎ、白ねぎ、いちごなどの野菜が栽培されています。一方、南部の中山間地域では、地域特性を活かした米づくりやぶどう、ゆずなどの果樹が栽培され、県内最大の産地を形成しています。

本市ではこれまで「第 1 次農業・農村振興計画」及び「第 2 次農業・農村振興計画」に基づき、農業情勢の変化に的確に対応する「儲かる農業」の確立に取り組んでまいりました。

しかしながら、農業従事者の高齢化や担い手不足に加え、TPP、日米貿易協定などにみられる国際経済のグローバル化、平成 30 年度からの米政策の見直しなどの国内外の情勢の大きな変動など、様々な事態への対応が求められています。

一方、国においては、平成 27 年 3 月に、新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し、農業の成長産業化を図る「産業政策」と多面的機能の維持・発揮を促進する「地域政策」を車の両輪とする農業政策が展開されています。

このような中、本市では、引続き「儲かる農業」を念頭に、農業所得の向上と農業経営の安定化を図り、持続可能な地域農業を確立していくために「第 3 次宇佐市農業・農村振興計画」を策定しました。

今後は、本計画に基づき、農業者の皆様をはじめ、関係機関や団体と連携し、各種農業の施策を実行性のあるものとして推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました農業・農村振興計画検討委員の皆様をはじめ、市民の皆様から感謝を申し上げます。

令和 2 年 3 月

宇佐市長 是 永 修 治